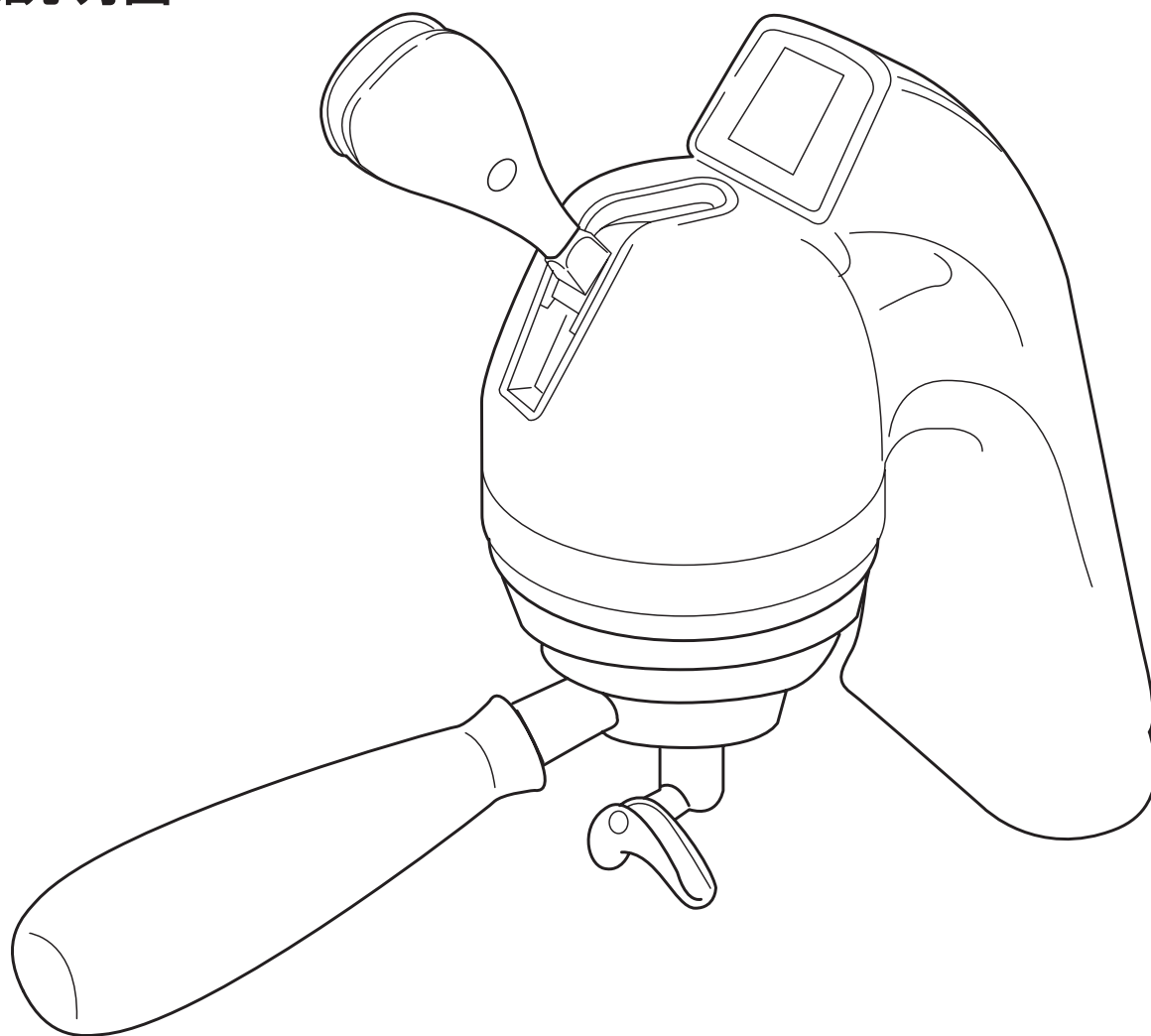


Espresso System

取扱説明書



目 次

● 安全上の注意事項	1 ~ 2
● 各部の名称	3
● 操作方法	4
始業時の準備	4
抽出方法	4
終業時手順	4
● 画面表示	5 ~ 9
● 調整	10
● お手入れ	11
● 故障かな？	12
● 仕様	12
● 製品保証書、無料修理規定	裏表紙

このたびは modbar Espresso System を
お求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読
みいただき、十分にご理解いただいたうえ
で正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読み
いただけるようわかり易い場所に大切に
保管してください。

品質向上のため予告なしに変更されることがありま
すのでご了承ください。

安全上の注意事項

ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示内容は次の通りです。



警告

守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。



注意

守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。



警告

据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼してください。

アース線は接地施工してあるアース端子又はアース専用コンセントに接続してください。

電源は、延長コード、分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください。

本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い電源の容量が不足したり設備工事に不備がないようにしてください。

電源コードを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして、発火することがあります。

電源プラグは、ほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。

電源コードは傷つけたり、重いものを乗せたり、加工・束ねて使用しないでください。

電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者若しくはその代理店又は同等の有資格者によって行わなければなりません。

電源は、漏電ブレーカーを施した専用コンセントを使用してください。

火花、白煙が発生しコード内部断線の恐れがある場合、使用を続けると、火災の危険性があります。

機械に水をかけないでください。漏電する恐れがあります。

水のかかりやすい場所や、湿気の多い場所には設置しないでください。

濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

マシン内部から水漏れ、蒸気漏れを確認した場合、コンセントをぬいて販売店へ連絡ください。

火傷を負った場合、ただちに患部を冷やし、状態に応じて医師に相談してください。

吸・排気口などの隙間にもものを入れたり、手を近づけないでください。

小さなお子様や、不慣れな方が機械に触れない様ご注意ください。

機械に異常を感じたら直ちに運転を中止し販売店へ連絡のうえ指示に従ってください。

機械の分解・改造は絶対にしないでください。

修理作業は、専門の修理技術者以外は行わないでください。

廃棄する場合は専門業者か、お買い上げ店に依頼してください。

病院内や医療用電気機器のある場所で使用しないでください。

本製品の誤作動により重大な影響を及ぼす恐れのある電子機器の近くで使用しないでください。

安全上の注意事項

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。



注 意

この機械は、本来の目的以外に使用しないでください。

振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。

設置面は水平を保ち、傾斜がないように設置してください。

本機器は、取扱い説明を受け、内容を理解した要員が監視できる場所に設置してください。

操作も含めて、訓練を受けた要員が監視できる環境下で使用してください。

電源は設置場所から1.5m以内で電源コードに余裕が出る場所に準備してください。

本機器は上水道に直結して使用されるため、接続にあたっては国内の給排水設備基準および規制を遵守してください。

屋外や、これに準ずる場所には設置、使用しないでください。

使用環境温度は5℃～35℃の範囲内としてください。

本機の内部が氷結した状態で使用を続けると、故障や感電の原因となるおそれがあります。

高熱を発生する機器の周辺や、直射日光のあたる場所、あるいは凍結の恐れのある場所では使用しないでください。

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないでください。

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

機器の周辺は、およそ10cm以上の空間をあけて設置、使用してください。

設置場所の周囲は、水やコーヒーがこぼれてもよい場所を選んでください。

メーカー指定の電源電圧でご使用ください。

メーカー指定の水道水圧内でご使用ください。

ご使用の浄水器の使用期限を確認し必ず定期的に浄水フィルターを交換してください。

スイッチの操作は必ず指先で行ってください。硬い物で操作すると故障の原因になります。

製品にもたれたり、乗ったりしないでください。

運転中、可動部に手を入れないでください。

他製品の部品や付属品を組み合わせず使わないでください。

運転中、吸気口、排気口、通気口に触らないでください。

清掃・点検時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。

高圧洗浄機等による部品洗浄は行わないでください。

マシンを使用する際は必ずマニュアルに従って定期的にクリーニングを行ってください。

排水ホースに詰まりがないか始業時に点検を行ってください。

フィルターや通気口は必ず定期点検し汚れている時はコンセントを抜きクリーニングしてください。

漏電遮断器は月に1回動作確認してください。

クリーニング時には必ず指定洗浄剤をご使用ください。トラブルの原因になります。

使用する洗浄剤のラベルに記載された危険に関する警告を確認してください。

洗浄剤をドリンクに混入させないように十分注意してください。

営業終了後など長時間作業者がいない場合は、電源プラグを抜いて水道の元栓を閉めてください。

営業終了後など長時間作業者がいない場合は、電源プラグを抜いてください。

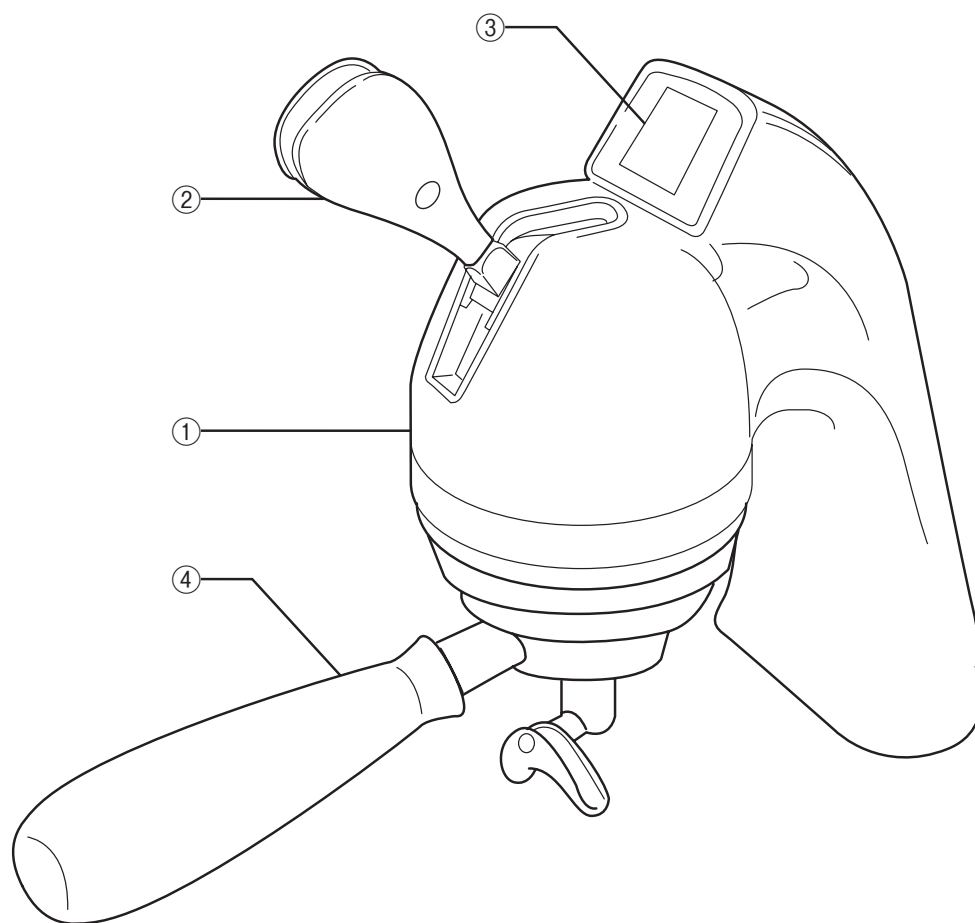
機器設置には新品のホースセットを使用し、使用済みのホースセットを再利用しないでください。

断水の時はメインスイッチを「OFF（切）」にし、水道栓を閉めてください。

断水が発生した場合や長期間（7日間以上）マシンを使用しない状態が続いた場合、残留物が蓄積することがあります。デイリークリーニングを実施後に使用してください。

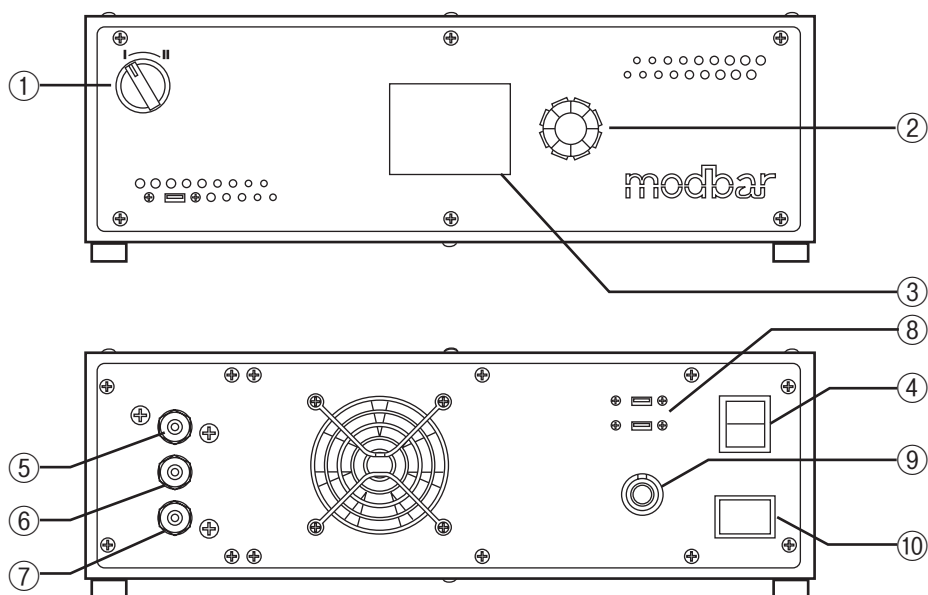
設置後に機器の移動は絶対に避けてください。給排水からの漏水や他のトラブル発生原因となります。

各部の名称とはたらき



【抽出部】

- ①エスプレッソ抽出装置
- ②レバーハンドル
- ③ディスプレイ
- ④ポルタフィルター

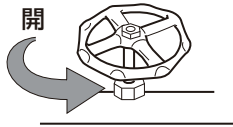


【モジュール部】

- ①ヒータースイッチ
- ②ジョグダイヤル
- ③タッチディスプレイ
- ④電源スイッチ
- ⑤エスプレッソタップ接続部
- ⑥給水接続部
- ⑦排水接続部
- ⑧USB ポート
- ⑨エスプレッソタップ
ケーブル接続部
- ⑩電源コード差込口

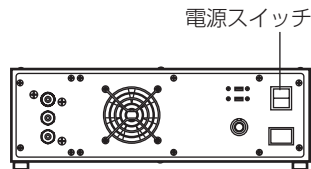
始業時の準備

- 1** 水道の元栓を開きます。

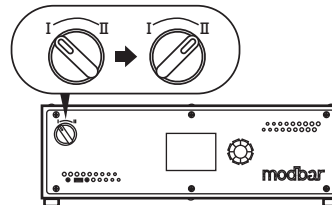


- 2** モジュール部背面の電源スイッチを「I」にします。

電源 ON = I
電源 OFF = 0



- 3** モジュール部前面左のヒータースイッチを「II」の位置に回します。



- 4** 約 5 分後、モジュール部ディスプレイの準備完了インジケータが赤から緑に変われば適温です。



抽出方法

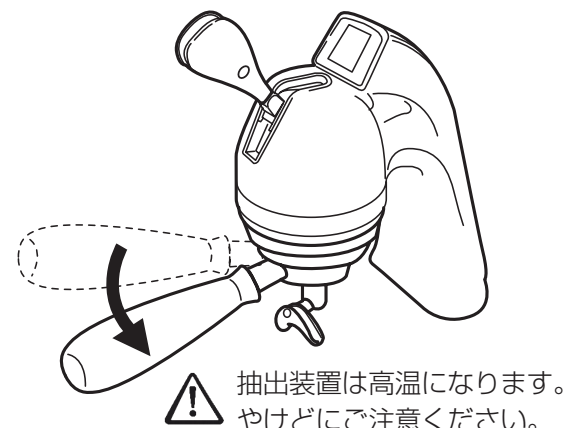
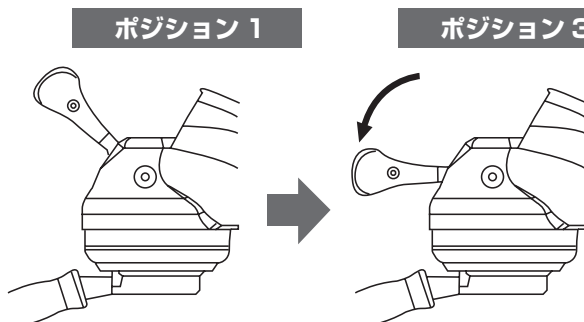
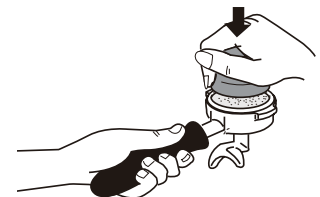
- 1** ポルタフィルターが冷たい時は、抽出したコーヒーがぬるくなりますので、オートリンス（11 ページ参照）や抽出動作を行い、熱湯だけを出し、ポルタフィルターをあらかじめ温めてください。

- 2** ポルタフィルターのフィルターバスケット内に、適量のコーヒー粉を入れてください。

- 3** フィルターのフチについた粉は手の平で拭き落としてください。

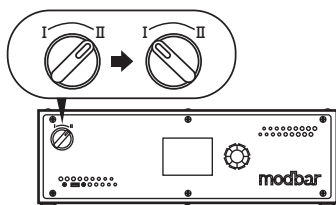
- 4** ポルタフィルターを左約 40° 位の方向よりエスプレッソ抽出装置に入れ、右方向へ止まるまで回してください。

- 5** 抽出口の下にカップを置き、コーヒーボイラー温度の適温を確認し、レバーハンドルをポジション 3 に押し下げて抽出してください。



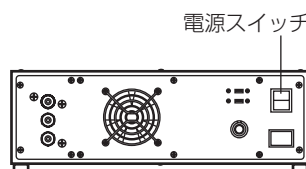
終業時手順

- 1** モジュール部前面左のヒータースイッチを「0」の位置に回します。

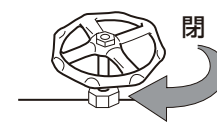


- 2** モジュール部背面の電源スイッチを「0」にします。

電源 ON = I
電源 OFF = 0

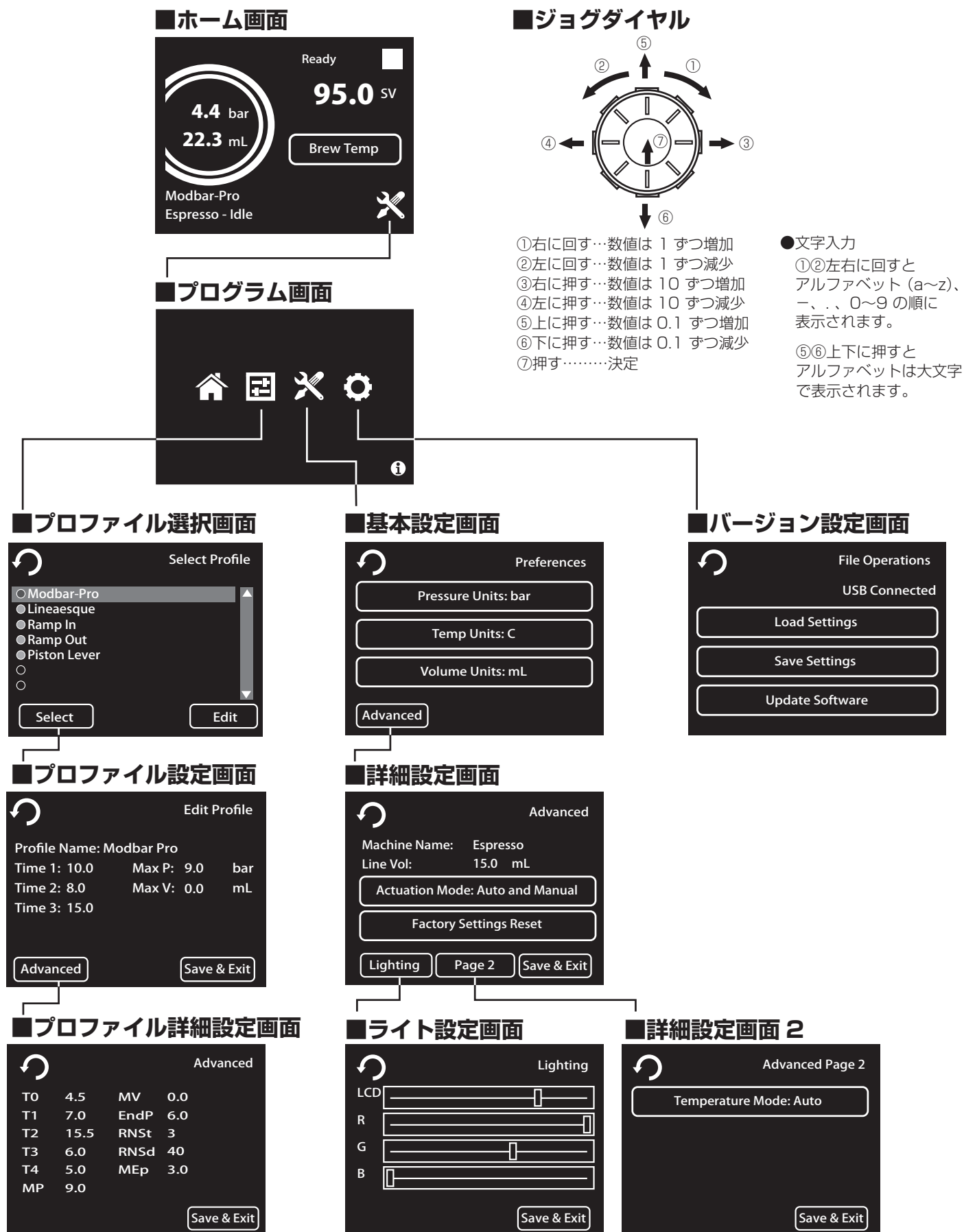


- 3** 水道の元栓を閉めます。

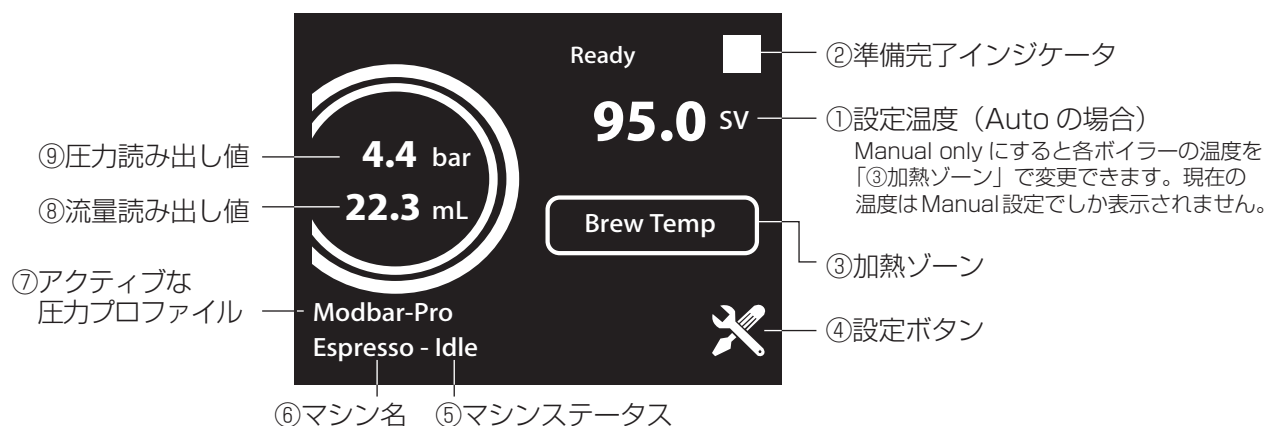


画面表示

画面表示ツリー



ホーム画面



①設定温度

: アクティブな加熱ゾーンの現在の設定温度の値。
 設定温度を変更するには、画面上の赤で表示されている数値にタッチします。
 数値がハイライト表示に変わり、変更可能となりますので、ジョグダイヤルにて数値を変更してください。

右に回す…数値は 1 ずつ増加します。
 左に回す…数値は 1 ずつ減少します。
 右に押す…数値は 10 ずつ増加します。
 左に押す…数値は 10 ずつ減少します。
 上に押す…数値は 0.1 ずつ増加します。
 下に押す…数値は 0.1 ずつ減少します。

ジョグダイヤルの中央を押すと、変更が保存されます
 (上記の操作で変更した温度は、現在選択しているプロファイルに保存されます)。

②準備完了インジケータ

: 正方形のアイコンでマシンが使用できる温度になっているかどうかを表します。
 マシンの電源を入ると、すべての温度ゾーンが設定温度に達するまでインジケータは赤 (Heating) で表示されます。設定温度まで達すると、インジケータは緑 (Ready) に変わり、抽出できる状態であることを表します。

③加熱ゾーン

: 自動温度モードでは、このボタンは使用できません。
 手動温度モードでこのボタンを押すと、エスプレッソシステムの 3 つの加熱ゾーン、つまり、インレットボイラー、アウトレットボイラー、グループヘッドが順番に表示されます (9 ページの「詳細設定画面」を参照してください)。

④設定ボタン

: 基本設定画面を表示します。

⑤マシンステータス

: 本体とタップの現在のステータスを表示します。

⑥マシン名

: マシンの名前を表示します (詳細設定でユーザが変更可能)

⑦アクティブな圧カプロファイル : 現在選択されている圧カプロファイルを表示します。

⑧流量読み出し値

: 抽出動作時 (手動、自動、リンス) のリアルタイムの流体容量情報を表示します。

⑨圧力読み出し値

: 現在のボイラー圧力を表示します。

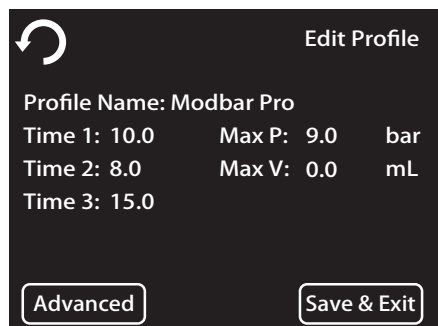
画面表示

プロフィール選択画面

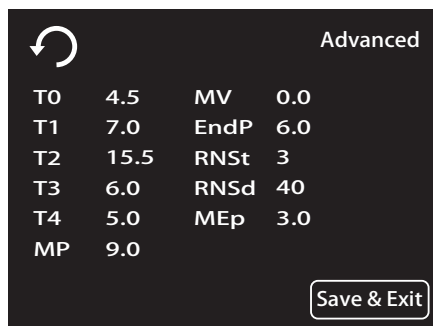


- ① 戻るボタン : 前の画面に戻ることができます。
- ② アクティブプロファイル : エスプレッソタップレバーを自動抽出ポジションにしたときに使用されるアクティブなプロフィールで、青色で塗りつぶした丸で示されます。
- ③ 非アクティブプロファイル : プロファイルデータは設定されているが現在アクティブではないプロフィールで、灰色で塗りつぶした丸で示されます。
- ④ 空のプロファイル : 何も表示されていないプロフィール欄で、プロフィールデータが入力されるまで使用できません。空のプロファイルは塗りつぶされていない丸で示されます。
- ⑤ プロファイルの選択 : カーソルで選択している状態でプロフィール選択ボタンを押すと、プロフィールがアクティブプロフィールに設定されます。
- ⑥ プロファイルの編集 : カーソルで選択している状態でプロフィール編集ボタンを押すと、プロフィール設定画面になりプロフィールデータを編集できます。
- ⑦ カーソルで選択中 : カーソルで選択されているプロフィールを示します。
プロフィールのリストは、ジョグダイヤルを回して、または上下に動かして移動できます。ジョグダイヤルの中央を押すと選択したプロフィールがアクティブになります。

■プロフィール設定画面



■プロフィール詳細設定画面



変更したい数値をタッチしてジョグダイヤルにて数値を変更してください。

プロフィールの選択時、このメニューはタップのディスプレイにも表示されます。

設置している本体とタップとの距離にもよりますが、タップのディスプレイでメニューを移動し、つまみのボタンを使ってプロフィールをスクロールできます。つまみの中央のボタンを押すと、タップのディスプレイ上でプロフィールがハイライトされます。この中央のボタンでは、ホーム画面からプロフィール選択メニューに移動することもできます。

圧力プロフィール

エスプレッソシステムの圧力プロフィール機能は、「簡易」または「詳細」モードでプログラムできます。いずれのモードでも、専用の設定画面があります。目標とする抽出特性が得られるプロフィールを作成するには、それぞれの変数の意味や関係について理解することが重要です。

■プロフィール設定画面

Edit Profile

Profile Name: Modbar Pro
Time 1: 10.0 Max P: 9.0 bar
Time 2: 8.0 Max V: 0.0 mL
Time 3: 15.0

Advanced Save & Exit

■プロフィール詳細設定画面

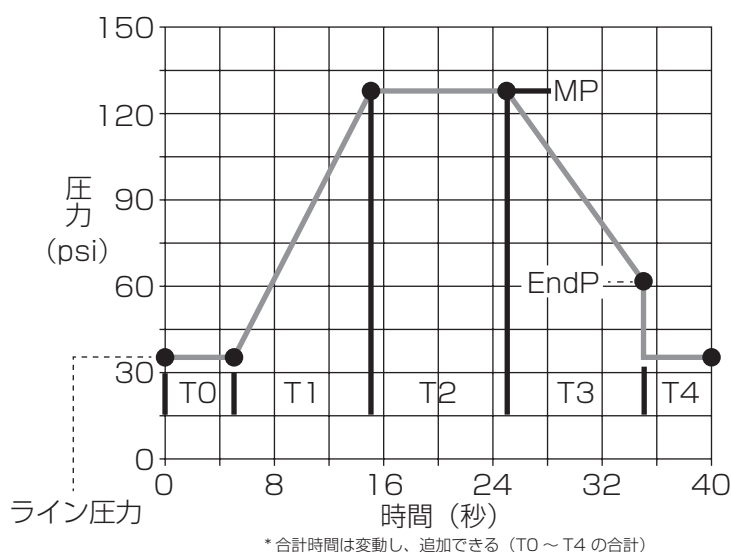
Advanced

T0	4.5	MV	0.0
T1	7.0	EndP	6.0
T2	15.5	RNSd	3
T3	6.0	RNSd	40
T4	5.0	MEp	3.0
MP	9.0		

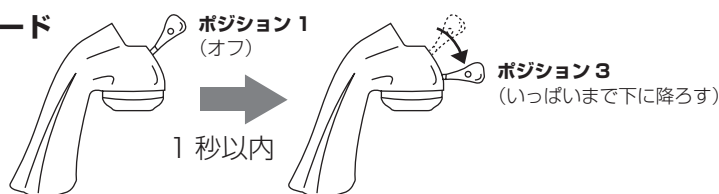
Save & Exit

本システムは幅広い機能を備えており、現在市販されているほとんどすべてのエスプレッソマシンや圧力条件を再現できます。

以下のリファレンスガイドを参照すれば、「簡易」と「詳細」のいずれのプログラミングメニューインターフェイスでも問題なく設定できます。



自動モード



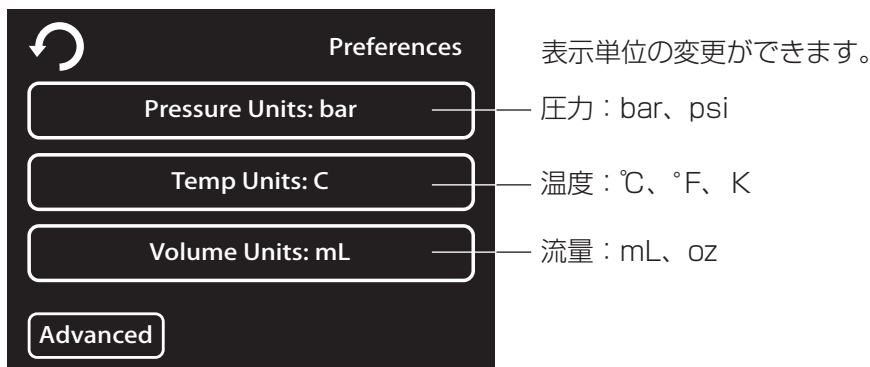
変数の意味

- T0** - むらし時間 (加圧ポンプ稼働なし) (水圧のみ)
- T1** - 水圧から最大圧力 (MP) までの到達時間 (加圧ポンプ稼働)
- T2** - 最大圧力を維持する時間 (加圧ポンプ稼働)
- T3** - 最大圧力から終了圧力 (EndP) (加圧ポンプ稼働)
- T4** - 水圧に戻してから抽出時間 (加圧ポンプ稼働なし)

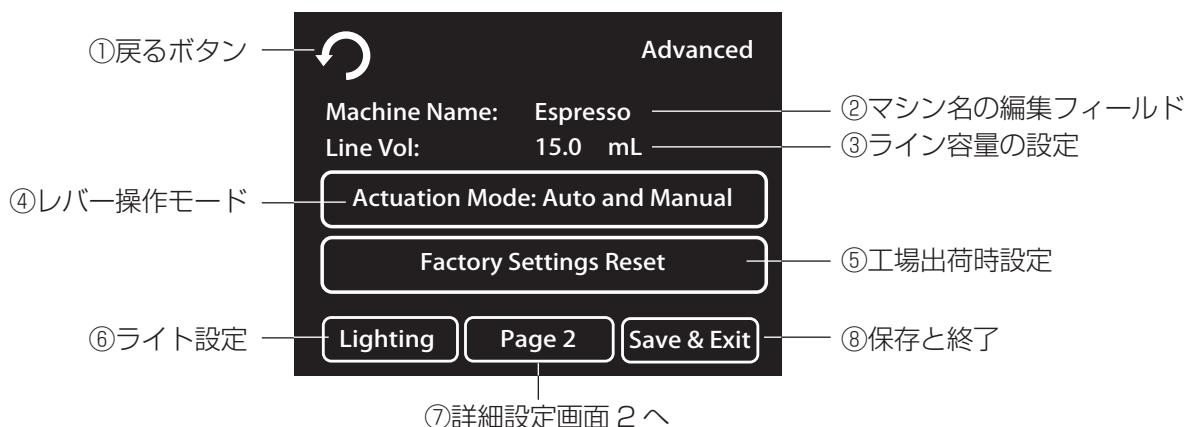
- MP** - 最大圧力。
抽出中にポンプ圧が到達する最大圧力。
※ 手動抽出モードにも適用される。
- MV** - 最大容量 (デフォルト「0」)。
「0」に設定すると、容量の計測が実行されない。「0」より大きな値に設定すると、設定された水量が注入されると、自動および手動抽出サイクルが中断する。
- EndP** - 終了圧力。
水圧よりも高い圧力で設定できる。
継続時間「T3」の終了時に到達する圧力になる。
- RNSd** - リンス時間。
自動リンス機能を実行する長さ (秒単位)。
- RNSd** - リンスモーターパワー。
自動リンス機能で流れを起こすモーター速度の割合 (0 ~ 100%)。
- MEp** - 手動終了圧力。
手動抽出モードの使用時にレバーハンドルをポジション 3 からポジション 2 に動かしたときに到達する圧力。

画面表示

基本設定画面

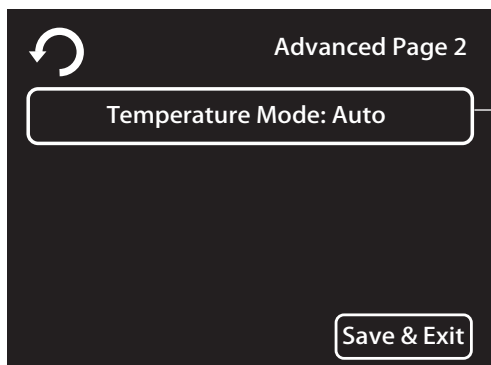


詳細設定画面



- ①戻るボタン : 前の画面に戻ることができます。
- ②マシン名 : 本体の説明的な名前。
名前にタッチしてフィールドをハイライトし、ジョグダイヤルにて変更できます。
- ③ライン容量 : この値は、エスプレッソシステムの本体とタップの間のラインにある水を調整するために使われます。また、コーヒーパックに吸収される水の損失を確認する場合にも使われます。ライン容量の設定は、同じ抽出プロファイルや容量計量設定を使っている 2 台のエスプレッソシステム本体のずれを訂正するのにも使用できます。たとえば、2 台の本体がどちらも 36mL を取り出すようにプログラムされていて、一方が他方よりわずかに取り出し量が多い場合、取り出し量の多い本体のライン容量設定を増やして最終的な量を調整できます。
- ④レバー動作モード : この設定を使い、エスプレッソタップのレバーハンドルの動作を制御します。
「Auto and Manual」自動圧力プロファイルモードと手動操作モードの両方を使うことができます。
「Auto」自動圧力プロファイルモードのみにになります。
「Manual」手動操作モードのみにになります。
- ⑤工場出荷時設定 : すべてのシステム設定を工場出荷時の値にリセットします。
注意 : 保存していたすべての圧力プロファイルとその他の設定は失われます。
確認画面が表示されるので、工場出荷時設定に戻す操作を確定してください。
- ⑥ライト設定 : ライト設定画面に移動します。
- ⑦詳細設定のページ 2 : 詳細設定画面 2 に移動します。
- ⑧保存と終了 : 設定の変更を保存し、現在表示されている画面を終了します。

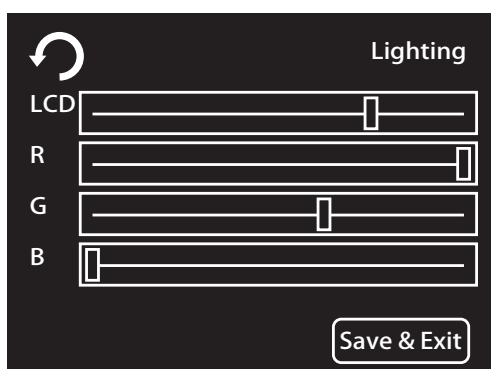
詳細設定画面 2



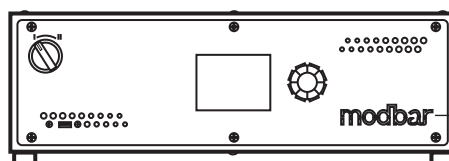
ボイラーの温度制御を選択できます。

- ・ Auto の場合
Brewhead、Inlet、Outlet の 3 ヶ所の温度を一括で温度管理することが可能です。
- ・ Manual の場合
Brewhead、Inlet、Outlet の項目を個別に設定できます。
Brewhead.....20 ~ 99 SV
Inlet.....20 ~ 102 SV
Outlet.....20 ~ 102 SV

ライト設定

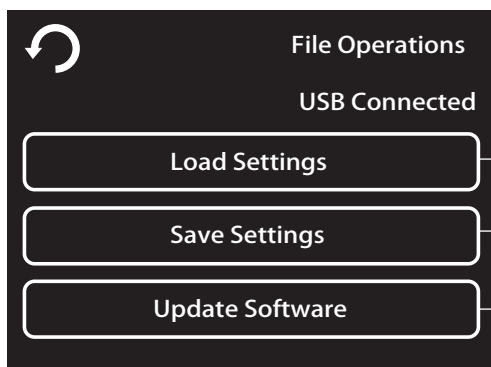


正面 LED ライトの色を変更することができます。



正面 LED ライト

バージョン設定



プロファイルデータを USB に保存して共有をすることができます。

プロファイルデータの読み込み

プロファイルデータの保存

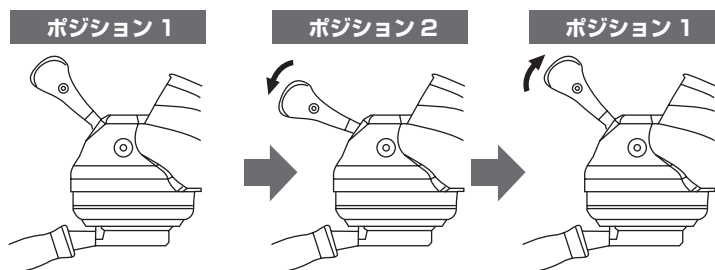
ソフトウェアの更新

お手入れ

オートリンス

レバーのポジションをポジション1から、素早くポジション2にレバーを移動し、再度素早くポジション1に戻すとオートリンスが開始されます。

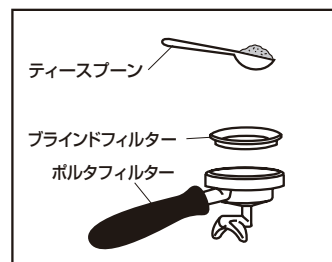
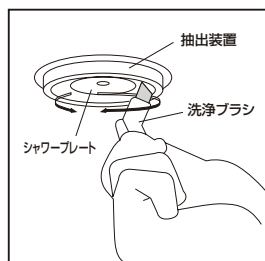
🔄	Advanced			
T0	4.5	MV	0.0	
T1	7.0	EndP	6.0	
T2	15.5	RNSt	3	
T3	6.0	RNSd	40	
T4	5.0	MEp	3.0	
MP	9.0			
Save & Exit				



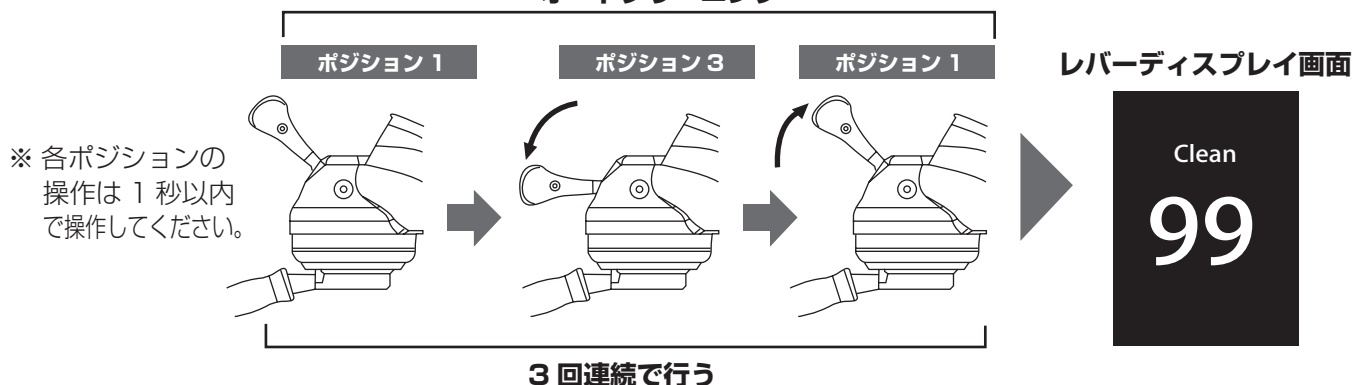
※ 各ポジションの操作は 1 秒以内で操作してください。

抽出装置の清掃（毎日の清掃）

- 1 エスプレッソ抽出装置より、ポルタフィルターを外してください。
- 2 コーヒーカスを捨ててください。
- 3 付属の洗浄ブラシを使用してシャワープレートの外側を洗ってください。
- 4 ブラインドフィルターをポルタフィルターに取り付け、ティースプーン 1 杯（約 8 g）の洗剤を入れます。
- 5 ポルタフィルターをエスプレッソ抽出装置に取り付けて、レバーのポジションをポジション1から、素早く3に移動、再度ポジション1に戻す動作を3回連続で行うと、画面に「99」と時間が表示され、オートクリーニングが開始されます。



オートクリーニング



- 6 オートクリーニングの時間終了後、エスプレッソ抽出装置からポルタフィルターを外し、すすぎ洗いをしてください。
- 7 再度、ポルタフィルターをエスプレッソ抽出装置に取り付けてオートクリーニングを実施してください。（抽出装置のすすぎ洗い）
- 8 ポルタフィルター、ブラインドフィルターをぬるま湯の入った容器などに入れて洗浄してください。

故障かな？ & 仕様

故障かな？

◎ 次のような場合は故障でないことがありますので、お申しつけの前にもう一度ご確認ください。

■本体が加熱しない

ヒータースイッチがⅡの位置にあるか確認してください。

■タップでディスペンシング（一定量の注入）が行われない

本体への給水がオンになっていることを確認します。

水道の元栓が開いているか確認してください。

また、タップと本体の間の給水チューブにねじれなどが無いことを確認します。タップのディスプレイが正しく機能していることを確認します。機能していない場合は、タップの電気接続を確認します。

■ポンプの圧力が超過する

プロファイルのプログラムで、T1 の時間が 2 秒以上になっていることを確認します。

2 秒未満の場合は、圧力の到達が速すぎるためにポンプが異常動作することがあります。

仕 様

形 名	ESPRESSO SYSTEM	
電 源	単相：200V	
消 費 電 力	2900W	
重 量	モジュール	16kg
	タ ッ プ	11.3kg
ボ イ ラ ー 容 量		1.2L
寸 法	Tap 部分：W137×D334×H296mm Mod 部分：W406×D415×H136mm タッチスクリーンサイズ：3.2 インチ	

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

製品保証書

型 式		機番	保証期間
お 客 様	お名前	様	お買上げ日より1年
	ご住所 〒		お買上げ日
	電話 () —		* 年 月 日
*販売店名			
住所			
電話 () —			

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。
ご販売店さまへ：*印欄は必ず記入してお渡してください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

ラッキーホームマシン 株式会社

本 社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

事業所については
こちらをご覧ください

